

平成28年度 事業報告書

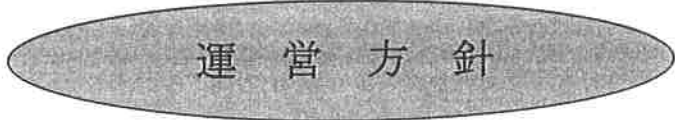
社会福祉法人 夢の郷

社会福祉法人 夢の郷



基本理念

1. 人権を守り主体性の尊重に努めます
2. 地域で暮らすための環境整備に努めます
3. 安心と安全の保障に努めます



運営方針

1. 利用者が選択できるメニュー（ハード・ソフト面）を提供する
2. 利用者の生活を見守り柔軟に対応する
3. 利用者主体の事業を推進する

夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせるよう
生活支援を行います

夢の郷基本理念・運営方針

1	はじめに	1～2
2	サービス利用案内	3～4
3	行事等実施報告	5
4	実習・ボランティア・介護体験等実習 受入報告	6
5	研修参加報告	7～8
6	苦情対応報告	9
7	ヒヤリハット及び事故報告	10
8	広報委員会報告	11
9	給食委員会報告	12
10	協力医療機関受入結果報告	13
10	各事業報告	
	①朝海ハイム	・宿泊型自立訓練事業 ・生活介護事業 14～16
	②クローバーハウス	・就労継続支援B型事業 17～18
	③いすず工房	・就労継続支援B型事業 19～20
	④グループホーム夢の郷 はるか・あすか・南風荘 城山荘・朝海ハイムⅡ	・共同生活援助事業 21～22
	⑤アンダンテ	・地域生活支援事業(日中一時支援事業) ・特定相談事業 23～24
	⑥津市障害者相談支援センター	25～26
	⑦その他の事業等	・工賃向上報告書クローバハウス 27 ・工賃向上報告書いすず工房 28

はじめに【平成 28 年度をふりかえって】

社会福祉法人夢の郷（以下「夢の郷」という）は、1 ページ掲げる基本理念及び経営方針に則り事業を進めてきました。

夢の郷として、この一年をふりかえると大きな取り組みを求められたことが 4 つあります。

1 社会福祉法改正への対応

社会福祉法が、①社会福祉施設の経営組織のガバナンスの強化②事業運営の透明性③財務規律の強化 を柱とする大幅な改正が行われました。

① ガバナンスの強化に向けては、法人の理事会の役割りについて、運営管理機関・執行機関としての責務が明確になり、その責任体制が明文化されました。

一方、評議員会は、諮問機関から施設経営の為の議決機関となり、役員（理事・監事）の選任及び解任、定款の変更、決算の承認、役員報酬基準の承認等経営を監督（チェック）する役割を担うことになりました。

② 事業経営の透明性の確保については、定款等の備え置きや公表、会計基準の統一と公表、パソコンのホームページ上へ掲載等の情報公開の対象とルール明確化が求められることとなりました。

③ 財務規律の強化については、役員報酬基準の作成公表、役員等への特別な利益供与の禁止、社会福祉充実残高の明確化等が求められこととなりました。

このため夢の郷は、平成 29 年度 4 月からの社会福祉法本格施行に向けて、定款の変更や規定の整備など役員の方々のご理解のもと監督官庁である津市ご指導を受けながら進めました。

特に、定款の理事・評議員条項については、理事の評議員兼務をなくし、理事総数を 7 人から 6 人に、評議員は 15 人から 7 人とし、社会福祉法で求められる事業経営体制を整えました。

また、この評議員を選任するための必置機関である、評議員選任・解任委員会に専門家の参加いただき設置し、平成 29 年 4 月 1 日を新任期とする新評議員を選任していただきました。

2 利用者が地域で暮らすための環境整備・安心と安全対策について

平成 28 年 7 月 26 日未明、神奈川県内の障がい者施設において多くの入所者が命を奪われたり、負傷させられた事件がありました。

障がい者に対する誤った偏見差別をもった元職員が起こしたもので、職員・利用者も含め大きなショックを受けた事件でした。

夢の郷ではこの事件報道を真摯に受けとめ、基本理念である「地域で暮らすための環境整備に努めること、安心と安全の保障に努める」に則り、次の対応を行いました。

- ① 各グループホームの玄関に、人の出入りを録画できる防犯カメラ及び人の出入りがあれば自動的にライトが点灯するセンサーライトを設置しました。
- ② グループホーム「あすか」においては、夜間支援員を配置するなど、夢の郷としての防犯対策に取り組みました。
- ③ ハードの面ばかりでなく8月9日・10月13日の2回にわたり”ピアサポートみえ”の障がい当事者講師により『障がい者差別解消法について』をテーマとする職員・利用者研修を行いました。

この事件が、報道では単に精神保健福祉法上の取扱いに終始されるところがあり、事件の本質をともしれば見過ごされる危険性があります。

人命・人権は、障がいの有無にかかわらず常に尊重されなければなりません。このための職員研修を今後も欠かすことができません。

3 夢の郷の健全な経営に向けて

夢の郷中期的な目標等を策定する将来構想委員会及び検討委員会で開催し、将来構想(案)を策定し、理事会及び評議員会の承認をいただきました。今後は、その具体化・内容充実を図って行くことです。

この「将来構想(案)」を利用者・職員に配布し、障がい当事者、支援者その他の方々の意見を集約し、より良いものにしていくことが必要です。

4 人材確保及び人材育成について

『福祉は人なり』といわれています。将来にわたり安定した経営を進めていくためにも優秀な人材の確保と、計画的に職員の資質の向上が求められています。

今後は人材の確保は対症的な取り組みだけではなく、将来を見越した積極的な対策を進めていかなければなりません。

「アンダンテ」

●一般相談支援事業

- ・計画相談
地域生活をコーディネートし、自分らしい生活へのプランを提案します。

●日中一時支援事業

- ・憩いの場、余暇活動の機会、食事、入浴等のサービスの提供を行います。

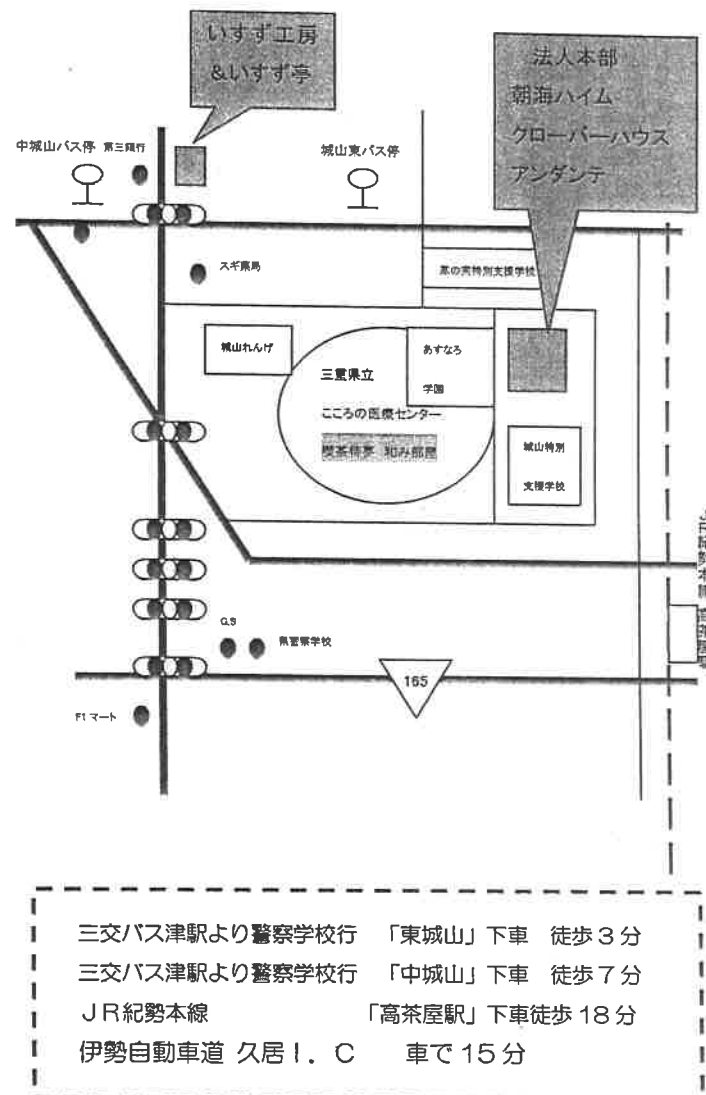
(ウ) ●津市障がい者相談支援センター

障がいのある方の、生活、福祉、就労などについての相談窓口です。

●津市障がい者相談支援センター

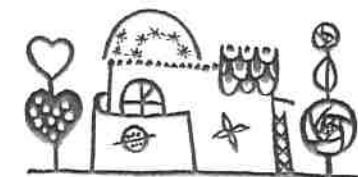
サテライト 「アンダンテ」

精神障がい者の相談支援及び地域移行や地域定着のための相談支援を行います。



事業案内

社会福祉法人 夢の郷



津市城山一丁目8番16号

TEL 059-238-0303
FAX 059-238-0304

夢の郷は、障がい者が安心して地域で暮らせるよう、生活支援を行います

クローバーハウス

●就労継続支援B型事業

パン製造・販売

受託作業

☎ 059-234-5939

Fax 059-238-0304

缶詰パン



いすず工房

●就労継続支援B型事業

製麺・販売・受託作業

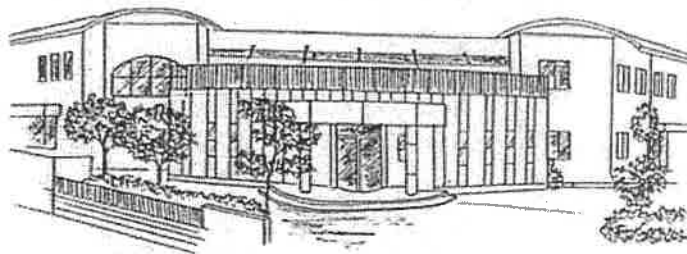
いすず亭（うどん屋）

喫茶待夢・和み部屋

（こころの医療センター内）

☎ 059-234-0020

Fax 059-234-0155



あさみ

朝海ハイム

●宿泊型自立訓練事業

●生活介護事業

○利用につきましては、福祉サービス受給者証が必要です。
居住地の市町福祉課にご相談ください。

はるか・あすか・

南風荘・朝海ハイムⅡ

共同生活援助事業所

平成28年度 行事等実施報告

項目 月	行事等	災害訓練	健康管理・衛生関係	会議
4月		21 火災訓練(グループホーム)	18 検便	2 運営会議
		26 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	20 職場のメンタルヘルス	
5月	5 就労支援事業所交流会	19 防災地震訓練(グループホーム)	17 健康への関心と意識(フリートーク)	12 運営会議
		25 防災避難訓練(朝海ハイム宿泊)	20 検便	17 監事監査
		30 防災地震避難訓練(いすゞ工房)		19 津市自立支援協議会
				24 理事会・評議員会
6月	3 三重県精神保健福祉社会	22 25 本体・グループホーム消防設備点検	13 検便	2 運営会議
	9 三家連精神保健福祉四日市大会	16 火災訓練(グループホーム)	15 熱中症の予防と対策(講話)	23 評議員会・理事会
	17 三重県連精神障害者事業所連絡会総会	28 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		19 津市精神保健福祉連合会
7月	27 医療センター夏祭り	1 火災避難訓練(アンダンテ)	11 検便	7 運営会議
		21 防災台風訓練(グループホームホーム)	20 夏の過ごし方・マイコプラズマ肺炎	14 三重県連精神障害者事業所連絡会
		26 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		24 津市自立支援協議会
8月	14 地域盆踊り大会		8 検便	4 運営会議
		10 防災地震避難訓練(アンダンテ)	20 健康診断結果について相談	21 計画相談検討会議
		18 火災訓練(グループホーム)		29 ゆかいな仲間コンサート
		24 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		
9月	9 ぶどう狩り	1 火災通報訓練(いすゞ工房)	12 検便	1 運営会議
		15 火災訓練(グループホーム)	21 間食について(講話)	6 津市精神保健福祉連合会
		13 防災訓練(朝海ハイム生活介護)		
		26 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)		
		27 防災地震避難訓練(アンダンテ)		
10月	5 夢コンサート	3 防災地震訓練(朝海ハイム生活介護)	15 風邪の予防(講話)	7 津市福祉監査室監査
	13 三重県精神保健福祉大会 甲州・東海ブロック大会	13 火災訓練(朝海ハイム生活介護)	17 検便	13 運営会議
	27 28 みんなネット全国大会(三重)	19 火災訓練(グループホーム)	20 講話	14 理事会・評議員会
	21 三重県社会福祉大会	24 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		18 津市自立支援協議会
	30 三重県精神保健福祉三重県大会			
11月		13 火災通報訓練(クローバーハウス)	5 インフルエンザ接種	10 運営会議
	13 三重県精神保健福祉大会	17 火災訓練(グループホーム)	14 検便	三重県精神保健福祉審議会
	29 津市精神保健福祉連合会 スポレク大会	24 火災訓練(朝海ハイム宿泊)	17 インフルエンザ接種	5 津市精神保健福祉連合会
	20 みかん狩り		19 インフルエンザの基礎知識とワクチンの効果	20 三重県連精神障害者事業所連絡会
12月	8 しつとこ祭	15 火災訓練(グループホーム)	12 検便	1 運営会議
	24 クリスマス会	23 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	17 インフルエンザ対応について(講話)	9 ゆかいな仲間コンサート
	28 すき焼き忘年会	27 防災地震避難訓練(いすゞ工房)		19 理事会・評議員会
1月	5 新年交流会	19 火災訓練(グループホーム)	18 感染胃腸炎対策(講話)	5 運営会議
		18 防災地震避難訓練(アンダンテ)	16 検便	
		25 防災訓練(朝海ハイム宿泊)		
2月	3 豆まき	16 火災訓練(グループホーム)	13 検便	4 運営会議
	14 ゆかいな仲間コンサート	23 火災訓練(朝海ハイム宿泊)	15 アトピー性皮膚炎への対応(講話)	18 三重県精神保健福祉審議会
				19 三重県連精神障害者事業所連絡会
3月	6 夢まつり	9 防災地震避難訓練(クローバーハウス)	13 検便	3 夢まつり
	10 アイリスコンサート	19 防災地震訓練(ケアホーム)	18 C型肝炎について(講話)	9 運営会議
		20 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)		21 理事会・評議員会

平成28年度 実習受入報告

職種等	学校	実人員	日数
精神保健福祉士		0	0
計		0	0
看護師	津看護専門学校	34	7
	三重大学医学部看護学科	91	8
	三重県立看護大学	4	1
小計		129	16
職場体験実習		1	5
小計		1	5
合計	10箇所	130	21

平成28年度 ボランティア受入報告

実人員	ボランティア内容	年間延べ日数
1	清掃を通してのアンダンテとの交流	12
1	受託作業を通しての利用者交流	
2	行事への参加協力	
4名		12

平成28年度 介護体験等実習受入報告

学校名	実人員	延べ日数
三重大学	2	10
皇學館大學	2	10
立命館大学	1	5
合計	5	25

平成28年度 研修参加報告

外部研修

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
1	5	20	時間外・深夜労働時間の割り増し賃金の計算・考え方について	津市労働基準監督署	1
2	5	13	平成28年度職場体験受入事業所指導担当職員研修会 「よりよい職場体験のうけいれかた」	三重県社会福祉協議会	1
3	5	12	平成28年度社会第1回福祉法人役員経営セミナー 「社会福祉法改正に対応して経営の在り方」	三重県社会福祉法人経営者協議会	1
4	6	6	平成28年度業種別セミナー 「障害者福祉をめぐる関係法令について」	三重県社会福祉協議会	1
5	6	16・17	新任職員研修課程Ⅰ	三重県社会福祉協議会	1
6	6	21・22	新任職員研修課程Ⅰ	三重県社会福祉協議会	1
7	6	23・24	新任職員研修課程Ⅰ	三重県社会福祉協議会	4
8	7	5・6	新任職員研修課程Ⅱ	三重県社会福祉協議会	1
9	7	3	障がい福祉サービス事業者等集団指導	三重県健康福祉部	4
10	7	5	新任職員研修課程Ⅱ	三重県社会福祉協議会	1
11	7	7・8	新任職員研修課程Ⅱ	三重県社会福祉協議会	1
12	7	8	こころの元気研修会 「病院から地域の切れ目のない支援を目指して」	三重県こころの医療センター	1
13	7	8	平成28年度全国社会就労センター総合研究大会 「就労B工賃向上・受注拡大に向けての取り組み」	社会就労センター	2
14	7	14・15	三重県相談支援従事者初任者研修講義部分	三重県障害者相談支援センター	2
15	7	15	障がい福祉サービス事業者等集団指導	三重県健康福祉部	4
16	7	19	会計担当者要請集中講座 「新会計基準での会計実務」	三重県社会福祉法人経営者協議会	1
17	7	27・28	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県障害者相談支援センター	1
18	8	2	社会福祉法人役員及び幹部職員研修会 「社会福祉法改正・社会福祉法人施設等指導監査」	三重県並びに津市他	2
19	8	10	改正社会福祉法対応セミナー 「社会福祉法改正の概要と内部統制」	TKC全国社会福祉法人経営研究会	1
20	8	10	津市障がい者計画相談事業所連絡協議会研修会 「法改正・相談支援専門員の役割」	津市障害者相談支援センター	3
21	8	17～19	第21期リーダーセミナー 「先駆的な役割から学ぶ」	全国社会就労センター協議会	1
22	8	26	平成28年度社会第2回福祉法人役員経営セミナー 「社会福祉法改正に向けた会員法人の対応と実践」	三重県社会福祉法人経営者協議会	1
23	9	15・16	三重県相談支援従事者初任者研修 演習Ⅰ・Ⅱ	三重県障害者相談支援センター	1
24	9	30	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会学習会 「司会力をつける」	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会	1

25	10	5・7	平成28年度相談支援専門員現任研修会	三重県障害者相談支援センター	2
26	10	21	第65回三重県社会福祉大会 「地域でできる子供若者支援」	全国社会福祉法人協議会	3
26	10	27・28	みんなネット三重大会	全国精神障害者家族会	9
27	10	28	お笑いこころサミット	NPO法人びびアサポートみえ	1
28	11	2	三重県サービス管理責任者研修 共通部分	三重県障害者相談支援センター	1
29	11	9	第10回福祉施設の為のリスクマネジメント研修会	損保ジャパン日本興亜株式会社	1
30	11	9・10	三重県サービス管理責任者研修 介護分野	三重県障害者相談支援センター	1
31	11	16・17	三重県サービス管理責任者研修 地域生活分野	三重県障害者相談支援センター	1
32	11	21	改正社会福祉法対応実践セミナー 「定款変更の留意点と社会福祉充実財産の算定」	TKC全国社会福祉法人経営研究会	1
33	12	8	精神保健福祉三重県大会 「発達障がい、自閉症スペクトラムの対応と支援について」	三重県精神保健福祉協議会	1
34	12	8	平成28年度経営セミナー 「改正社会福祉法制度改革対応」	三重県社会福祉法人経営者協議会	1
35	1	10	障害者グループホーム説明会 「障害者グループホームの概要及び補助制度」	三重県	1
36	1	17～19	第21期リーダーセミナー「事業振興について学ぶ」	全国社会就労センター協議会	1
37	1	26	平成28年度役員・管理者向け会計セミナー 「財務分析 決算書の見方・指標の見方」	三重県社会福祉法人経営者協議会	1
38	2	2	三重県精神保健福祉会家族研修会 「最近の障害年金の認定状況とこれからの課題」	三重県精神保健福祉会	1
39	2	16	平成28年度第2回精神障害者の地域移行担当者会議 「精神障害者にも対応した地域包括システム」	厚生労働省	1
40	3	22	第21期リーダーセミナー 「就労支援の在り方今後の就労支援を担う修了生への期待」	全国社会就労センター協議会	1
41	3	23	平成28年度第2回社会福祉法人役員経営セミナー 「社会福祉法人制度改革について」	三重県社会福祉法人経営者協議会	1
42	3	25	三重県アルコール関連問題啓発フォーラム	三重県健康福祉部	1
合 計					50

内部研修

No	実施日		研修名	研修講師	人員
	月	日			
1	8	9	障害者差別解消法研修Ⅰ	三重県障害者差別解消条例を作る会 杉田 宏 氏 松田 慎二 氏	14
2	10	13	障害者差別解消法研修Ⅱ	三重県障害者差別解消条例を作る会 杉田 宏 氏 NPO法人びびアサポートみえ 伊藤 久美子 氏	8
3			虐待対応等について 伝達講習	各事業所管理者において	
合 計					22

平成28年度 苦情対応報告

1 苦情集計

月	件数	内容・改善策等	
10月	1	内容	グループホームのフェンス外に煙草の銀紙が散乱している。煙草を吸う人がいるのか。
		改善策	①グループホームでは吸わない②喫煙は朝7時以降とする③本数は1日10本にする④吸殻や紙は捨てない 等を該当者と話し合い約束する。
計	1		

2 苦情委員会開催

第1回	10月26日	苦情対応検討

平成28年度ヒヤリハット・事故報告集計

1 ヒヤリハット

	件数			
6月	1	内容	服薬支援	利用者2名分の薬が厨房に落ちていた。
		改善策		薬の保管場所を分りやすいところに移動して、職員間で周知する。
8月	1	内容	転倒・転落	階段を上るとき途中でふらついて転倒し転落した。
		改善策		階段の両サイドに手すりを付ける。滑りにくい履物に変える。
7月	1	内容	交通事故	弁当配達中に、狭い道で対向車のミラー同士衝突した。
		改善策		狭い道での通行時には危険を避け、一時停止を行う。
11月	1	内容	異物混入	食器用洗剤容器に、キッチンハイターを間違えて入れた。
		改善策		洗剤等の補充は昼間の職員によって行う。
12月	2	内容	品質管理	賞味期限の切れた商品の引き上げを忘れ、お客様より連絡をいただく。
		改善策		ラベラーと賞味期限の確認方法の変更で改善を図る。
2月	1	内容	誤飲	1/4にカットしたハンバーガーを噛まずに飲み込もうとした。
		改善策		食事提供のための個々のマニュアルに沿って提供する。
3月	1	内容	服薬支援	GHホールに利用者の薬(眠剤)が落ちていた。
		改善策		薬は利用者の手の上に置くか口に入れ、服用後の声掛け確認を行う。
計	8			

2 事故報告

	件数			
4月	1	内容	現金取得	男性が現金入りの封筒を駐車場において立ち去ったので、すぐ警察に届けた。
		改善策		バイクのナンバー等控え、相手にお返しできるようにする。
5月	1	内容	車の接触	駐車場内で後方発信時に職員の車と接触した。
		改善策		発進前の周囲の状況を確認し、慎重な運転に努める。
8月	2	内容	施錠	グループホームで入浴中にドアのかぎが閉まる。
		改善策		3時以降は世話人または生活支援員を配置し、見守り支援を行う。
		内容	誤薬	グループホームで他の利用者の眠剤を間違えて手渡し、服用した。
		改善策		薬袋の氏名を声を出して読むことで防ぐことができる。(KY活動の実践)
9月	1	内容	無断外出	宿泊型職員が業務を終了して帰宅後の衝動的な外出
		改善策		夜間従事者による24時間見守り支援体制を進める。
10月	2	内容	物損事故	駐車場でアクセルとブレーキを間違えて花壇の煉瓦に衝突した。
		改善策		危機管理委員会として、運転技術の向上と安全運転のための方策を指導した。
		内容	物損事故	送迎からの帰り、駐車場の煉瓦壁に接触した。
		改善策		駐車場の位置を変更し、駐車場からの出入りを容易にする。
11月	1	内容	交通事故	自転車にて受診途中、トラックに積んだ角材で右ほほを強打し裂傷を負った。
		改善策		受診の時には、バスの利用か職員の同行により行う。
2月	2	内容	物損事故	夜間グループホーム訪問時にフェンスに接触した。
		改善策		夜間は担当のグループホームから離れず利用者支援に徹する。
		内容	誤薬	グループホームで朝食薬と夕食役を間違えて手渡し、服用した。
		改善策		薬袋の氏名と服薬時間を声を出して確認する。
計	10			

平成28年度 広報委員会 報告

1 夢つうしんについて

- ① 夢つうしん 38 号を平成 28 年 8 月に発行しました。
- ② 夢つうしん 39 号を平成 29 年 3 月に発行しました。

2 夢の郷のホームページについて

夢つうしんや平成 27 年度決算関係書類を掲載しました。

3 年賀状について

日頃からお世話になっている関係者及び関係機関等に年賀状を送付しました。

4 地域交流

- ① 城山東地域盆踊り (平成 28 年 8 月 14 日)
- ② 地域溝掃除参加 隔月第 3 日曜日
- ③ 夢まつりを平成 29 年 3 月 3 日に開催しました。

平成28年度 給食委員会報告

1 総括

各事業所に検食当番を依頼し、毎月意見を聞き取り、食事の提供を行った。

厨房での衛生管理に努め、食中毒予防と異物混入の防止に努めた。

調理機器の改善や整理整頓により厨房内の整備を行った。

各事業所より利用者のニーズを聴きとり、メニューの改善を行った。

咀嚼や嚥下が困難な人への対応を検討し、食べやすい食事が提供できた。

2 協議内容

前月の昼食・夕食検食結果について

次月のメニュー検討について

各事業所より提案された意見や苦情に基づく改善について

その他、緊急の課題について

3 開催状況と検討内容

月	日	検討内容
4	20	調理者の検便、GH等への朝食パンの変更について
5	18	夕食メニューへの追加について
6	24	食中毒対策冷蔵庫内衛生管理、利用者への水分摂取の声掛けについて
7	8	冷蔵庫の点検・食材の管理について
8	24	冷蔵庫内食材の使い切りと整理の徹底、害虫の侵入予防対策について
9	23	2升炊き炊飯器の購入、必要な人へのスプーンの準備について
10	21	手洗い等衛生面での注意、食材の事前準備について
11	24	年末年始のメニューの提案、意見箱からのメニューの提案について
12	21	年末年始の朝食メニューの検討、食事提供加算からの食費補てんについて
1	27	夢まつり準備とおもてなしメニュー、ノロウィルス感染予防について
2	22	夢まつり・厨房の衛生管理 後処理の確認について
3	23	食事提供前にメニュー紹介をして、残食を減らすことについて

平成 28 年度 協力医療機関受入結果報告

- 1 みえ医療生活共同組合高茶屋診療所の宮崎医師及び看護師等に来所いただき、健康管理に関する講話を行っていただき利用者・職員が知識を深めた。

月	講話テーマ	参加者数(利用者)
4	フリートーク	1 4
5	肥満予防について	1 3
6	熱中症について	1 8
7	食中毒の予防について	1 7
9	間食について	1 8
1 0	風邪の予防について	1 7
1 2	冬の乾燥肌について	1 1
1	インフルエンザについて	1 2
2	花粉症について	1 1
3	太りにくい食べ方のヒント	1 4
合計		1 4 5

- 2 協力医療機関天の川歯科福島医師等来所いただき、健康管理に関する講話及び歯科治療を受けた。

月	講話		歯科治療	
	テーマ	参加者数	来所回数	治療者延数
4	歯の大切さ、歯磨き指導	1 6	3	1 2
5	歯磨き指導実技	1 6	4	2 0
6	歯の大切さ	1 7	4	2 0
7	嚥下体操実技	1 8	5	2 5
8	歯磨き指導	1 8	4	1 8
9	嚥下体操実技	1 7	4	1 7
1 0	歯磨き指導	1 5	5	2 2
1 1	歯磨き指導	1 3	4	1 4
1 2			4	1 6
1	嚥下体操実技	1 7	4	1 1
2			4	1 7
3	歯磨き模型による指導	1 8	5	2 1
合計		1 6 5	5 0	2 1 3

平成28年度 事業報告「朝海ハイム」

宿泊型自立訓練事業（定員10名）

生活介護事業（定員20名）

1 総括

①宿泊型自立訓練事業

- ・体験利用を重ねることで、病院からの地域移行が進んだ。
- ・宿泊型自立訓練の結果、グループホームへの移行や家庭復帰ができた。

②生活介護事業

- ・毎日の入浴や決まった時間の食事と服薬で、安定した清潔な暮らしが継続できた。
- ・サービスを受けることにより地域での暮らしが継続できた。
- ・軽作業（はさみ金具・ストロ口前等）への参加で社会参加ができた。
- ・医師による講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。

2 年間延利用者（開設日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宿泊型 自立訓練	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	開設365日
	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	5	延実数117人
	229	248	240	245	206	265	233	209	214	215	155	115	延2,570人
生活介護	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	開設269日
	19	20	20	20	20	22	21	20	20	20	20	21	延実数194人
	327	341	362	384	343	391	418	362	364	378	333	378	延4,381人

平均利用者数 宿泊型自立訓練 7.1人 生活介護事業 16.3人

3 地域別利用者数（28年4月1日～3月31日）

	津市	伊勢	松阪	尾鷲	四日市	大紀	計
宿泊型 (人)	7	1	1		1		10
生活介護 (人)	19	2	1	1		1	24

4 年齢別利用者数

	20～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	65～	計 実数
宿泊型 自立訓練		1	1				1	3	3	1	10
生活介護		1		2	3	1	5	5	2	5	24

5 サービス終了後の結果

	継続	グループ ホーム	自宅	アパート	就労B型	他施設	入院	その他	計 (実数)
宿泊型自立訓練	5	3	2						10
生活介護	19				2			3	24

6 職員体制

	宿泊型自立訓練事業	生活介護事業
管理者兼務 サービス管理責任者	1名（常勤）	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤） 1名（非常勤）	3名（常勤）
夜勤支援従事者	1名以上	
地域移行支援員	1名（非常勤）	
医師・看護師		2名（非常勤）

7 日課

	宿泊型自立訓練事業 (スタッフ勤務時間)	生活介護事業
サービス提供時間	7:00~19:00 (内、6時間) 年末年始、土、日曜日 10:00~19:00	8:30~15:00
訓練内容 (サービス内容)	・ 宿泊による自立訓練 ・ 朝夕食事提供 ・ 地域移行支援 ・ 健康管理 ・ 生活相談 ・ 生活支援 ・ 夜間防災体制	・ 食事・入浴・排せつ介護 ・ 日常生活上の支援 ・ 軽作業 ・ 地域交流 ・ 創作活動、余暇活動 ・ 相談 ・ 健康管理・指導

8 その他の事業

- ・ 各圏域障害者相談支援センターとの連携
- ・ 各圏域障害者相談事業所との連携

9 行事

- ・ 津地域精神障害者連合会交流・地域での清掃活動等参加 ぶどう狩り・みかん狩り
- ・ 病院とのピアサポート交流、御殿場海開き、しっとこ祭、夢まつり

10 災害訓練

- ・ 自立訓練事業所、生活介護事業の日中防災・防火訓練 年3回
- ・ 夜間を想定した避難訓練(防災・防火) 12回

1 1 健康管理

- ・定期検診（X線検査含む）と検便
- ・生活介護事業 月～金バイタルチェック実施（高茶屋診療所、天の川歯科と連携）
- ・宿泊型自立訓練事業 生活習慣病のチェック及び指導
- ・インフルエンザ対策としてうがいと手洗いの励行
- ・インフルエンザの予防についての講話
- ・熱中症対策についての講話
- ・歯みがき指導

1 2 事業所内研修

宿泊型自立訓練

- ① 職員の責務、現状業務について
- ② リスクマネジメント
緊急対応について（夜間）
感染症対策・インフルエンザ、ノロウイルスの対応について伝達
- ③ 接遇研修の伝達
- ④ 虐待防止対応の伝達

生活介護

- ① 新任研修 リスクマネジメント・個人情報保護
業務について
- ② 障害者差別解消法について
- ③ 接遇・利用者への対応 苦情対応
- ④ 危機管理・緊急時の対応
職員健康管理

1 3 苦情解決

宿泊型自立訓練

- ① 苦情 無
- ② 意見 無

生活介護

- ① 苦情 無
- ② 意見 無

就労継続支援B型事業（定員20名）

1 総括

- ・ パンの製造と販売を通して、地域交流ができた。
- ・ 28年度も目標工賃を上回る工賃アップができた。（平均工賃 時間給454円）
- ・ 年金と工賃収入により、1日に6時間働く人は経済的な自立への見通しがついた。
- ・ 利用者に接客マナー研修を行い、販売への自信をつけた。
- ・ 対面販売の機会を増やし、効率よくパン事業の増収へとつなげた。
- ・ イベント参加やチラシの配布等により、クローバーハウスの事業への理解を図れた。
- ・ 新聞等の報道効果もあり、行政機関から缶詰パンの注文を受けることができた。

2 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者人数	25	24	25	24	21	22	22	24	24	25	24	24	282
延利用日数	446	446	443	422	396	409	408	410	429	441	386	440	5,076
延就労時間	2348	2366	2391	2234	2144	2107	2119	2058	2128	2171	1965	2279	26,310

3 地域別利用者数

	津	松阪	明和	志摩	紀宝	計
人数	29	1	1	1	1	33

4 年齢別利用者数

	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～68	計
人数	3	4	3	9	2	2	6	1	3	33

5 職員体制

職名	配置状況
管理者	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	2名（常勤）
生活支援員	1名（常勤）
目標工賃達成指導員	5名（非常勤）

6 作業種目

- ① パンの製造販売・ルート配達
- ② クッキー・焼き菓子の製造販売
- ③ 工場受託作業

7 日課

作業時間：8：30から15：30

作業日：事業所カレンダーによる開設 原則月曜から金曜日
年間269日

8 主な販売・イベント・地域交流

○定期販売先（敬称略）

あすなろ学園 井村屋 嬉野SA上り・下り線 草の実特別支援学校 極楽湯
サンフラワー 農業屋みのり久居店・松阪店 白山社会福祉協議会 マックスバ
リュウ城山店・一志店 三重県庁 心豊苑 ぎゅうとら

○イベント・地域交流

津市物産まつり 三重県民文化祭総合フェスティバル コープみえ三重総大会
M祭 松阪みのり祭 安全フェスタこころの医療センター夏祭り 看護フェスタ
松菱ふるさと三重物産展 みんなネット三重大会 三家連精神保健福祉大会
三重県精神障害者福祉事業者連絡協議会総会 農大祭&西山農場祭
国際交流フェスティバル 地域夏まつり エコエコバザール 美し国農商工連携
フェア 高茶屋診療所まつり 南が丘ふれあい祭 新町フェスタ
城山特別支援学校文化祭 みえ人権フォーラム 高茶屋小ふれあいまつり
精神保健福祉三重県大会 あすなろ学園祭 津産津消食の祭典 橋南中バザー
榎原病院文化祭 久居病院文化祭 ミカン狩り 津高・津東高文化祭

9 災害訓練

事業所合同訓練・火災通報訓練
防災訓練

10 健康管理

定期検診（X線検査含む）
インフルエンザ接種 蔓延防止のための対策
検便

11 その他の事業

三重県工賃向上計画推進事業

12 事業所内研修

- ① 基本理念について
障害者総合支援法に基づく福祉サービス
- ② 接遇とおもてなし
利用者の権利擁護
- ③ 精神障害者の就労支援と魅力ある事業所づくり
名古屋ライトハウス見学

13 苦情解決

苦情	無
意見	無

平成28年度 事業報告「いすゞ工房」

就労継続支援B型事業（定員20名）

1 総括

- ・ 工賃アップにより経済的自立への見通しがついた。（時間給 平均工賃505円）
- ・ 仲間同士で作業を教えあい協力して働く体制ができ、チーム力が高まった。
- ・ 弁当箱組み立てや箸入れ袋折り等の作業になって、新たな作業の導入ができた。
- ・ 和み部屋での交流が、地域生活のモデルとなっている。
- ・ 喫茶、うどん店、和み部屋での接客により、マナーの向上が図れた。
- ・ 弁当に地元の食材を使用して、地域貢献が出来た。
- ・ うどん店の営業により、地域社会との自然な交流ができた。

2 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者数	20	21	21	22	22	22	20	21	22	21	21	21	254
延利用数	387	413	391	416	406	409	407	416	431	417	371	428	4,892
延就労間	1,860	1,947	1,862	2,000	2,031	1,978	2,030	2,021	2,072	1,977	1,934	2,092	23,704

3 地域別利用者数

	津	松阪	明和	志摩			計
人数	22	1	1	1			25

4 年齢別利用者数

	～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～	計
人数	2	1	2	2	3	1	2	12	25

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼務サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤1名）
生活支援員	4名（常勤3名・非常勤1名）
目標工賃達成指導員	4名（非常勤4名）

6 作業種目

- ① 給食・弁当事業
- ② 喫茶・飲食店・製麺事業
- ③ 工場受託作業
- ④ 手工芸品製作・販売
- ⑤ 和み部屋接客販売

7 その他の事業

三重県工賃向上計画推進事業

8 日課

作業時間：8：30から15：30

作業日：事業所カレンダーによる開設 原則月曜から金曜日
年間269日

9 地域交流・行事

津地域精神障害者連合会交流
地域溝掃除

10 災害訓練

火災通報訓練 2回

地震避難訓練 1回

11 健康管理

定期検診（X線検査含む）

インフルエンザ接種

検便

血圧測定

12 事業所内研修

① 統合失調症への理解と対応
利用者への支援と取り組み

② 衛生管理 5S活動の推進
感染症・食中毒の予防

③ 障害者差別解消法
苦情対応

13 苦情解決

苦情 無

意見 無

平成28年度 事業報告「はるか・あすか・南風荘・城山荘・朝海ハイムⅡ」
共同生活援助事業

1 総括

- 1) 朝夕の支援体制の強化を図り、必要なグループホームには夜間支援従事者による支援体制を組むことで安心な暮らしが継続できた。
- 2) 健康管理・服薬確認・金銭管理等必要な生活支援を行った。
成年後見制度等の利用で、支援ネットワークが広がった。
- 3) 夜間の携帯電話での連絡体制作りや早朝のホーム巡回を行い、利用者の安否確認に努めた。
- 4) 定期的な通院同行及び緊急受診同行等医療機関と連携による、健康管理を行った。
- 5) 就労先又は日中活動事業所と連絡調整を行い、暮らしの安定を図った。
- 6) 月一回の防災訓練と、個人用の防災グッズの配備により、防災意識が高まった。

2 年間利用者数

	定員	3月末現員	延利用者数	平均実利用者数
はるか	8	7	2,818	7.7
あすか	7	6	2,253	6.2
南風荘	5	5	1,751	4.8
城山荘	5	4	1,396	3.8
朝海ハイムⅡ	5	4	1,794	4.9
計	30	26	10,012	27.4

3 区分による利用者数

障害程度区分	延利用者数	平均実利用者数	比率(%)
2	730	2.0	7
3	3,991	11.0	40
4	2,155	5.9	22
5	3,015	8.2	30
6	121	0.3	1
計	10,012	27.4	100

4 地域別利用者数

	津	伊勢	松阪	志摩	尾鷲	明和	玉城	紀北	大紀	計
人数	21	2	2	2	1	1	1	1	1	32

5 年齢別利用者数

	～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～	計
人数	1	1	1	5	1	2	5	15	32

6 職員体制

職名	配置状況
管理者	1名(常勤)
サービス管理責任者	1名(常勤)
世話人	12名(常勤2名 非常勤10名)
生活支援員	4名(常勤4名 非常勤2名)

7 防災対策

すべてのグループホームに自動火災警報装置、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置
非常用防災用品の備蓄(個人の防災グッズ)

地震避難訓練 6回

防火・防災訓練 6回

8 事業所内研修

① 障害者差別解消法について

② 接遇

ケースを通して利用者への対応を学ぶ

③ リスクマネジメント

事例検討

9 苦情解決

苦情 無

意見 1件(朝食夕食共に主菜が鶏肉であった。魚が小さくボリュームにかける。)

1. 実施事業内容

1) 地域生活支援事業(日中一時支援事業)

- ・地域で暮らす障害者の日中の見守り支援と相談支援
- ・食事、入浴・服薬支援及び必要な人への送迎
- ・余暇活動支援(体操・ティータイム・ジャズコンサート・みかん狩り)
- ・地域交流(自治会溝掃除・盆踊り・関係機関文化祭参加)

年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用延日数	397	378	388	408	411	455	437	442	449	433	433	458	5,089

1日平均利用者 14.0人

契約市町別

	津	松阪	玉城	明和	伊勢	志摩	大紀	尾鷲	計
利用者数	38	2	1	1	2	2	1	1	48

4) 特定相談事業(計画相談)

- ・津市自立支援協議会でのワーキング及び研修会に積極的に参加し、事業所間ネットワークが広がった。
- ・新規利用者の多くの計画相談を受け、障害福祉サービスに繋いだ。
- ・障害福祉事業所と連携し、地域の暮らしが継続できた。
- ・病院からの相談も多く、地域移行が進んだ。
- ・津市 175名 他市 23名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規・更新	14	14	9	16	10	28	18	20	24	17	13	15	198
モニタリング	20	15	23	14	10	11	14	13	8	12	11	10	161

2. 関係機関との連携

1) 津市地域自立支援協議会

本会

相談支援部会・就労支援部会・地域移行

(地域移行ワーキンググループ・計画相談ワーキンググループ)

2) 津市精神保健福祉連合会

研修会・当事者とともにスポレク大会に参加

3) 三重県精神障害者家族会連合会

みんなネット三重大会ワーキング企画

みんなネット三重大会参加

4)三重県精神保健福祉協議会

精神保健福祉大会参加

5)三重県精神保健福祉審議会

会議における検討

研修会・当事者とともにスポレク大会に参加

6)三重県精神障害者福祉事業所協議連絡協議会

定例会・総会・研修会参加

事業所間の連携と情報共有

3. 防火・防災訓練

年3回

4. 事業所内研修

①日中一時支援事業と業務について(新任研修)

②障害者差別解消法 虐待防止

③接遇 ボランティア受け入れ 苦情対応

リスクマネジメント

④認知行動療法

5. 苦情解決

苦情 0件

平成28年度 津市障がい者相談支援センター事業報告

1 総括

- 1)相談支援の必要な人への定期訪問や巡回等により地域で安心して暮らせるようになった。
- 2)相談支援の結果、情報提供を行い関係機関連携し、福祉サービスの利用へ繋がった。
- 3)地域自立支援協議会への参加により、ネットワークが広がった。
- 4)就労希望者には、就労・生活支援センターとの連携を図り、その人にあった就労支援を行った。
- 5)津市における虐待対応について予防と早期発見のための支援を行った。
- 6)ピアサポーターと病院を訪問し、地域での暮らしを共に考え地域移行を推進した。

2 事業の内容

- ①福祉サービスの利用援助
- ②社会資源を活用するための支援
- ③社会生活力を高めるための支援
- ④ピアカウンセリング
- ⑤権利の擁護のために必要な支援
- ⑥専門機関の紹介
- ⑦地域自立支援協議会の運営
- ⑧専門的な相談支援等を要する困難ケースへの対応
- ⑨津市障がい者虐待防止センターに関する業務
- ⑩精神障がい者の地域移行・地域定着支援のコーディネート業務
- ⑪社会資源見学会実行委員会の運営

3 年間利用者数

津市障がい者相談支援センター業務統計

月	内容												方法						
	サービス利用等	障害や病状	不安情緒	健康・医療	家族人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他		訪問	来所	同行	電話 メール	会議	関係機関	
4	49	19	28	29	1	2	1	22	0	0	0	151	23	16	7	69	4	32	151
5	83	17	41	49	6	10	5	5	0	0	6	222	33	7	4	88	3	87	222
6	106	13	67	53	1	15	1	9	0	0	2	267	30	12	8	129	5	83	267
7	121	29	86	68	1	21	20	7	0	0	0	353	43	17	8	167	6	112	353
8	97	23	80	86	7	23	18	4	0	0	0	338	37	25	2	162	3	109	338
9	87	9	121	48	1	9	24	10	0	0	1	310	35	15	7	169	2	82	310
10	107	22	86	45	8	10	17	12	0	0	0	307	44	17	0	158	6	82	307
11	34	6	97	36	7	6	8	8	0	0	7	209	25	11	0	136	5	32	209
12	41	28	91	48	2	9	6	7	0	0	0	232	22	9	5	151	0	45	232
1	62	18	132	40	7	9	6	8	0	0	0	282	24	14	5	190	2	47	282
2	77	39	119	52	0	12	6	0	0	0	1	306	19	22	4	181	1	79	306
3	71	28	118	68	6	25	26	1	2	0	12	357	22	20	24	209	3	79	357
	935	251	1,066	622	47	151	138	93	2	0	29	3,334	357	185	74	1,809	40	869	3,334

津市障がい者相談支援センター サテライト業務統計

月	内容											方法							
	サービス利用等	障害や病状	不安情緒	健康・医療	家族人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他		訪問	来所	同行	電話 メール	会議	関係機関	
4	45	4	15	10	4	1	21	8	17	2	17	144	8	74	0	38	0	24	144
5	19	9	6	7	13	0	2	5	3	0	8	72	2	12	0	40	0	18	72
6	4	1	0	2	0	0	30	2	85	0	17	141	0	134	0	6	0	1	141
7	13	0	1	8	0	0	0	0	0	0	16	38	0	36	0	2	0	0	38
8	8	2	3	0	1	0	6	1	0	0	4	25	1	13	0	8	0	3	25
9	6	0	0	2	1	0	0	5	1	0	2	17	0	6	0	8	0	3	17
10	7	0	1	11	1	0	0	1	4	0	4	29	0	17	0	7	0	5	29
11	9	2	0	16	1	1	0	5	8	0	1	43	0	25	0	5	2	11	43
12	20	1	5	8	4	1	0	9	23	0	1	72	0	35	1	13	4	19	72
1	19	1	5	2	4	0	0	6	5	0	3	45	1	12	0	18	7	7	45
2	16	1	11	12	5	0	0	1	11	1	4	62	1	21	0	19	3	18	62
3	16	3	4	15	7	0	1	1	15	1	6	69	0	34	0	17	1	17	69
	182	24	51	93	41	3	60	44	172	4	83	757	13	419	1	181	17	126	757

平成28年度工賃向上報告書

クローバーハウス

1. 概要

主な生産活動内容	パンの製造販売・パンセット仕分けに係る作業・地域企業より部品組立の受託作業
----------	---------------------------------------

○利用者数

定員	20名	延利用者数	282名
----	-----	-------	------

2. 工賃実績

○工賃総額 11,947,868円

○平均工賃

	実績 H27	実績 H28	備考
平均工賃実績額	452円	454円	時給
月額工賃実績額	42,463円	42,363円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ①単価の高い受託作業の提供。
- ②5S推進による効率の良い働きやすい職場環境の整備。
- ③機器の導入による大量生産体制。
- ④販売促進のための積極的な営業活動。
- ⑤生産技術の向上による品質の安定。

具体的な取組み

- ①部品作業受託先事業所を安定確保した。
- ②ミーティングや部署会議に諮り、整理整頓の習慣化を行った。
- ③1個当たり単価の高い商品の販売を増やした。
- ④津市・松阪市内の高校への昼食用パンの対面販売が出来るようになった。
- ⑤コンサルタントからの提案や助言を受け、経営の強化を図った。

課題等

- ①パンセットのルート配達が年々減少している。
- ②缶詰めパンの販売先開拓が出来なかった。
- ③事業推進のためには人員体制の強化が必要であるが、人件費が高くなり過ぎる。

平成28年度工賃向上報告書

いすゞ工房

1. 概要

主な生産活動内容	製麺うどん店での接客・喫茶接客・弁当給食に係る作業・地域企業より部品組立の受託作業・手工芸作品制作
----------	---

○利用者数

定員	20名	延利用者数	254名
----	-----	-------	------

2. 工賃実績

○工賃総額 11,987,603 円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	H27	H28	
時給実績額	502円	505円	時給
月額工賃実績額	46,177円	47,195円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ①季節感のある弁当メニューと顧客名簿の作製担当を決める。
- ②各作業の担当を決め、責任ある業務の遂行を行う。
- ③タイム顧客の要望を取り入れランチメニューを変更した。
- ④作業が途切れなく提供できるよう計画的な作業を進める。
- ⑤利用者全員が取り組めるように作業工程を細分化する。

具体的な取組み

- ①顧客に満足してもらえるよう、季節感のある弁当の提供をした。
- ②受託作業のミスをなくし、効率よく働けるよような職場環境を整えた。
- ③固定客に満足してもらえるよう、季節感のある弁当の提供をした。
- ④作業終了後の検査等で労働強化にならないよう、業務の分担を図った。
- ⑤写真やマニュアルの活用で作業工程をわかりやすく示した。

課題等

- ①ひとり一人利用者の体調管理と暮らしの支援について家族やグループホーム等と連携を行う。
- ②手狭な作業場を有効に活用するため、5Sを推進し安全の確保に努める。
- ③給食メニューがマンネリ化しない様に変化をつける。
- ④作業終了後の検査等で労働強化にならないよう、業務の分担を図る。
- ⑤高齢者デイケアの給食提供の体制を整える。

